



# ちば炎の仲間

## 発行

一般社団法人千葉県LPガス協会広報委員会  
〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1  
TEL 043-246-1725  
FAX 043-243-6781  
E-mail: chibalpg@chibalpg.or.jp  
http://www.chibalpg.or.jp

毎月10日は保安の日

## 10月11日 支部長会 開催

### 【議事概要】

議題1 取引の適正化について (審議事項)  
「LPガス切替勧誘の実態と対策」  
研修会の開催の要望があった。  
(下欄に研修会記事掲載)

議題2 平成25年度支部事業報告について (依頼事項)  
平成25年度支部事業報告書の提出  
依頼があった。

### 取引の適正化 「不適正な勧誘の現状と対策」 研修会開催

当協会木更津支部は、支部主催事業として10月2日(水) 木更津市民会館で今年度第2回の研修会を開催、木更津支部会員及び他支部会員125名と多くの方が参加しました。

今回の研修会は、公益社団法人神奈川県LPガス協会業務課長の坂本隆氏を講師にお迎えし、「不適正な勧誘の現状と対策」の内容で行われました。坂本氏は全国のガス関係者等からの講演依頼が多く、LPガス業界の現場やお客様相談にも卓越し、特定商取引法にも精通した方です。訪問販売の実態事例や切替業者の実態映像等2時間に亘ってご講演いただきました。

### 「LPガス・エネルギー産業の 今後の展望」

#### 第3回需要開発セミナー

当協会需要開発委員会(池田愛一郎委員長)と千葉県LPガス協会卸売支部(鶴沢宜広支部長)共催による第3回需要開発セミナーが、10月11日にオークラ千葉ホテルにて開催され、52名の受講がありました。

(株)伊藤リサーチ・アンド・アドバイザー代表取締役兼アナリス

10月11日(金)に千葉県ガス石油会館にて13時30分より支部長会を開催いたしました。また各種研修会、セミナーが開催されております。今後開催される研修会、セミナーの積極的な出席をお願いします。

議題3 需要開発推進運動進捗状況報告書について (報告事項)  
標記報告書の提出状況が報告された。

議題4 平成25年度高压ガス輸送車等防災訓練について(お知らせ)  
標記防災訓練が、11月20日(水)午後1時より市原市総合防災センター(市原市山田橋343番地)にて開催、開催地域所管の市原支部が「LPガス・カートリッジ缶等破裂燃焼実験」に参加し、破裂燃焼実験の他、災害用の炊

き出しセットを用いて湯沸かしを行うこととお知らせし、見学要請がされた。

議題5 その他  
(1) 需要開発委員会報告 (報告事項)  
標記報告と共に、リフォーム研修会を平成26年2月上旬に開催する予定であることをお知らせした。その後、平成26年2月4日(火)に開催することとなる。(詳細は別紙講習案内参照)

訪問販売による勧誘に消費者がどのように応じているか、また消費者が「お得感」と「不信感」に揺らんでいる状況など映像で見ることが出来ました。個人情報への漏えいなど、お客様を不適正な訪問販売から守るのは、自社のためではなくお客様のためと坂本氏は話され、「お客様との信頼はお客様との対話時間に比例する」との言葉が印象的でした。

また、勧誘により自社のお客様でなくなった場合にも、ガス以外の接点を持ち、いつでも戻っていただけるような体制を作ることも必要と述べられました。

今後販売店として、特定商取引法を十分に理解し、お客様との接点強化のため、点検のサービス、検針の仕方の工夫など顧客サービスの向上に取り組んでいきましょう。

トの伊藤敏憲氏を講師に迎え、「LPガス・エネルギー産業の今後の展望」について講演が行われました。

世界のエネルギー情勢、日本のエネルギー事情、LPガス業界の今後の課題等について説明いただき、LPガスの強みと弱みを理解し、今後のLPガス事業経営に取り組んでいくことが必要であるとの内容でありました。

特に、会社の未来はマネジメント

なお、今後標記研修会を県内各ブロック①中央ブロック(千葉、船橋、安房、市原、木更津、農協支部)②西ブロック(市川、松戸、野田、柏、印旛支部)③東ブロック(山武、海匝、銚子、香取、長夷支部)にて開催を計画しておりますので、開催の際には、ご出席いただきたいと思っております。日程等詳細決定しましたら支部より案内させていただきます。



が左右し、人財が将来を左右することを理解し、経営を変え、先守防衛の必要性を説かれました。



業界最新情報は協会HPの活動便りから!



# お知らせコーナー

千葉県防災危機管理部産業保安課 保安対策室

日ごろから保安行政の推進に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。県からの連絡事項は次のとおりです。

## 平成25年度液化石油ガス・高圧ガス保安活動促進行事の実施について

県では、10月・11月に空気呼吸器装着訓練、液化石油ガス事故防止に関するポスターコンクール、高圧ガス火薬類保安大会、高圧ガス輸送車等防災訓練等の保安活動促進行事を実施しました。貴協会及び協会の皆様の絶大なる御協力をいただき、おかげさまで本年度も各行事を成功裏に終了することができました。心よりお礼申し上げます。

## 【液化石油ガス事故防止に関するポスターコンクールの結果について】

県内の小中学校の児童・生徒を対象に、液化石油ガス事故防止を目的としたポスターコンクールを行いました。多数の応募があり、厳正な審査の結果、千葉県知事の「最優秀賞」及び「優秀賞」、(一社)千葉県LPガス協会会長の「優良賞」を決定し、10月23日(水)に千葉市内で開催された「第35回千葉県高圧ガス火薬類保安大会」において表彰式を行いました。表彰式では、受賞者が喜びに満ち溢れた笑顔や緊張の面持ちで、中岡防災危機管理部長や横山協会会長から賞状を受け取る微笑ましい光景が見られました。ここでは最優秀賞を受賞された3名の作品を掲載します。

### 最優秀賞 3作品

土橋 雄斗さん  
茂原市立二宮小学校 3年



ガス給湯器をよくみつめて、しっかりと描かれています。背景に描かれた手がアクセントとして効果を発揮し、子供らしい好感の持てる作品です。

西宮 希美さん  
鴨川市立小湊小学校 5年



擬人化されて大きく描かれた警報器に頼もしさを感じます。シンプルな画面構成ながら、文章も効果的で、伝えたい内容がしっかりと伝わってきます。

山田 瑠己さん  
八千代市立萱田中学校 3年



手前のコンロと奥の親子の遠近感、炎の中に包まれるように描かれた親子、子供の心配そうにみつめる表情など、構成がたいへん工夫されています。細部までいねいに描いた表現力の高さも見事です。

## LPガス自主保安計画書について

「自主保安活動チェックシート」の提出にご協力いただき、誠にありがとうございました。

このチェックシートの提出をお願いしたのは、皆様方が日頃努力されているお客様への保安活動のレベルを客観的に判断していただくものです。

また、この中で「保安確保の目標管理」が求められており、そのための実施計画の策定が必要とされています。

そこで協会では、そのひな形として「LPガス自主保安計画書(例)」を作成しました。会員の皆様には自店に合った計画書を作成し、保安確保に努めて下さい。

なお、書式は協会HP「会員の皆様へ(お知らせ)」の項目に掲載しております。



## 第7回親子クッキングコンテスト千葉県大会開催

10月5日(土)に第7回ウイズガス全国親子クッキングコンテスト千葉県大会が大多喜ガス(株)鎌取ショールームにて行われました。火は人間が使い始めて以来、長年利用してきた歴史あるエネルギーである、薪・炭・石炭・油・ガス・電気と時代と共に変化してきたが、ガスは使いやすさが認められ広く利用されている。今回の募集テーマ「わが家のおいしいごはん〜家族でいっしょに作ろう、うちの自慢メニュー〜炎の調理で五感を研ぎ澄ます」である。

2,594組の応募を通過してきた12組の親子(小学3年生~6年生男子4名・女子8名)が一同に会して、A・Bチームに分かれ1時間の持ちタイムに日頃の腕をふるった。親子で喜び喜びとした作業分担している姿は、まるでテレビのキッチンスタジオを見るが如くである、日頃から調理を手伝っているからか、子供とは思えない包丁さばき等の動作に感心を感じる。夫々の各家庭の自慢料理

が次々と出来上がる。完成の喜びに顔を緩め、笑みを浮かべる顔、不機嫌な顔、色々である。都市ガス・簡易ガス・LPガスの火育の共同コラボの一環事業である、炎を使った料理・特に焼く・煮る・蒸す・炎の美味さを引き出すことを目的とした料理コンテストは感慨深いものでありました。

斉藤 豊久 記

## 『赤い羽根共同募金』

“あなたの募金は、あなたの町へ”

今年も赤い羽根共同募金が始まります。募金の約6割は、あなたのまちを良くするために使われています。みなさまのご協力をお願いいたします。

(運動期間 10月1日~12月31日)

使途選択募金

<つかいみちが選べる募金>

【お問合せ】

社会福祉法人千葉県共同募金会

千葉市中央区千葉港4-3

TEL: 043-245-1721



**第35回 千葉県高圧ガス火薬類保安大会**

田中耕太郎氏・芹澤寛氏・吉野和弘氏  
千葉県知事表彰受賞!

平成25年10月23日(水)に第35回千葉県高圧ガス火薬類保安大会が、三井ガーデンホテル千葉で、千葉県を始め一般社団法人千葉県LPガス協会他5団体の主催により開催されました。



田中耕太郎氏



芹澤 寛氏



吉野 和弘氏

平成25年10月23日(水)に三井ガーデンホテル千葉において、千葉県と一般社団法人千葉県LPガス協会、一般社団法人千葉県高圧ガス保安協会、一般社団法人千葉県冷凍設備保安協会、千葉県高圧ガス流通保安協会、千葉県冷凍空調設備協会、千葉県火薬類保安協会の関係6団体による標記大会が開催されました。

当協会では田中耕太郎氏(川岸産業株式会社:市原支部)、芹澤寛氏(株式会社芹澤商店:松戸支部)、吉野和弘氏(半沢ガス工業有限会社君津営業所:木更津支部)が多年にわたる業界発展に貢献し、保安確保に尽力された功績に対して保安功労者として知事表彰を受賞されました。

また当協会協会長表彰として、下表のとおり優良事業所5社、優良従業員9名の方々が受賞されました。

なお、小中学校の児童・生徒を対象としたポスターコンクールでは、優秀な作品に対して千葉県知事の「最優秀賞」及び「優秀賞」5名、千葉県LPガス協会長の「優良賞」4名の表彰も併せて行われました。

閉会後の記念講演として石川顕氏(フリーアナウンサー)による『プロはミスをしないう一流の人々から学んだリスクマネジメント』との演題で行い、盛会裏に終了いたしました。



【優良事業所表彰受賞者名簿】

支部	事業所名
千葉	笠原商店
柏	カシワプロバングス(株)
山武	(株)白里ガス
海匠	佐藤石油ガス販売
銚子	(株)笠上屋商店

【優良従業員表彰受賞者名簿】

支部	氏名	事業所名
千葉	伊藤 治(楠)	伊藤 精 米 所
松戸	椎橋 学(楠)	吉野 屋 商 店
柏	小川 雅広(楠)	エネサンス関東柏事業所
印旛	新井 大介(楠)	新 井
山武	吉田 雅一	安 藤 興 業 (株)
海匠	鈴木 真澄	八日市場瓦斯(株)
安房	石川 洋子	金 東 プ ロ バ ン
長夷	鈴木 康弘	鈴 木 油 店
農協	小川 正之	君津市農業協同組合

**第50回 高圧ガス保安全国大会**

金牧晴夫氏 高圧ガス保安経済産業大臣表彰!  
吉田勤氏、島田隆氏、大竹且郎氏、高木秀夫氏  
高圧ガス保安協会長表彰!

平成25年10月25日(金)に高圧ガス保安協会主催、経済産業省後援による第50回高圧ガス保安全国大会がANAインターコンチネンタルホテル東京で開催されました。



金牧 晴夫氏



吉田 勤氏



島田 隆氏



大竹 且郎氏



高木 秀夫氏

平成25年10月25日(金)に高圧ガス保安協会主催、経済産業省後援による第50回高圧ガス保安全国大会がANAインターコンチネンタルホテル東京で開催されました。

当日は、午前10時30分から山崎直子氏(宇宙飛行士)による「宇宙・人・夢をつなぐ」の演題による技術講演会、午後1時から経済産業大臣表彰と高圧ガス保安協会長表彰の表彰式が行われ、15時15分から三浦雄一郎氏(プロスキーヤー、クラーク記念国際高等学校校長)による「80歳エベレスト登頂 ~希望の軌跡~」との演題で特別講演会が催され、盛会裏に大会は終了しました。当協会からは、金牧晴夫氏(東洋液化ガス株式会社:自動車支部)が高圧ガス保安経済産業大臣表彰の保安功労者として受賞されました。また、吉田勤氏(有限会社千倉ガス:安房支部)、島田隆氏(マルキガス成田株式会社:印旛支部)、大竹且郎氏(三井プロパンサハラ株式会社:香取支部)、高木秀夫氏(八街ガス株式会社:印旛支部)の4名が高圧ガス保安協会長表彰の保安功労者として受賞されました。なお、高圧ガス保安協会長表彰受賞者84名を代表して吉田勤氏が答辞を述べました。受賞者の皆様、大変おめでとうございます。今後とも、LPガス業界の発展のためにご尽力くださいますようお願い致します。

【高圧ガス保安協会全国大会会場にて】





**矢切の渡し**  
**株式会社 芹澤商店 芹澤 寛**  
**松戸支部**

松戸支部は松戸市と流山市から成り立ち、両市とも江戸川に接する市になります。この江戸川は、江戸時代、人工的に造られた河川です。現在は千葉県銚子に注いでいる利根川は、江戸時代以前は埼玉平野をいく筋にもながれて、東京湾に注いでいました。当時、江戸川下流はその支川の一つで、太日川とよばれていました。徳川家康が命じたといわれている江戸時代初期に行われた利根川の東遷事業（東京湾にそそいでいた利根川を現在の銚子方面へ切りかえ）の一環として1600年代初頭、現在の千葉県関宿から金杉までの18kmが開削され、江戸川は誕生しました。

今回は、江戸川の渡し舟である「矢切の渡し」について書かせて頂きます。矢切の渡しの歴史は古く、記録が残っているところでは徳川家康の江戸城入城まで遡ります。当時の江戸幕府は江戸の安全を守るため、江戸を守る堀としての川に橋を架けず、江戸に上るは原則禁止されました。しかし対岸に農地を持つ村民や幕府の役人・勅使などの限られた人たちのために15の定船場を指定しました。その1つが「矢切の渡し」です。渡し場は、江戸時代から明治初期が黄金期でしたが、橋が架けられ陸運が発達したことで廃れていきました。その中で、現在まで残っている「渡し」は矢切の渡しのみとなっています。矢切の渡し近くには、水戸街道で江戸から3箇所目の宿場町で

ある松戸宿があり江戸川に隣接していたこともあり物流拠点として繁栄しました。

現在の矢切の渡しは関所の役目ではなく、松戸市矢切地区と寅さんで有名な葛飾区柴又を結ぶ観光地となっております。矢切側には、西蓮寺には矢切の渡しの庶民性と周囲の素朴な風景を背景にした伊藤左千夫の小説「野菊の墓」があり、隣接している野菊展望台からの見晴らしは素晴らしく、矢切耕地、江戸川の流れ、遠方にはスカイツリーなどの東京の街並みが見渡せます。

これからも、この風景を守るためにLPG事業者として環境に負荷の少ないエネルギーであるLPGをPRし、エネファーム等の環境性能の高いシステムを普及させることで貢献していきたいと思っております。

**青年委員会便り**

**北海道「炎の出前教室」研修会**  
**㈱松伊燃料店 片岡大輔**

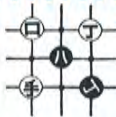
青年委員会で、平成25年10月4・5日と研修に行き、北海道の小学校で、火についての授業を行っている北海道協会青年委員会の見学をさせて頂きました。羽田空港を出発して、札幌市立北九条小学校に向かいました、北海道青年委員会では、小学校へ出前という形で、授業を行っていました、まず驚いたのが、2割近い生徒が自宅で火を見たことがないそうです。家の台所がIHコンロだったり、御仏壇がなく御線香に火をつけない、家族が煙草を吸わなかったりと、火を見たり、身近に感じる事がない環境に育つ生徒がいる、そこで重要なエネルギーの1つである火



を知ってもらう為に、ファイヤー探検記「人と火をめぐる物語」という教材を元に授業を進めていき、カラー印刷のクレイに製本された資料を作りクイズや小学生向けの絵をいれ、大変理解しやすい教材になっていました。地球温暖化に二酸化炭素が大きな原因となっています。二酸化炭素の各エネルギーの排出量は、電気38%、ガソリン28%、LPガス5%と電気が最も多く排出しています。その6割以上を火力発電で作っている事、自然環境に悪影響を及ぼす酸性雨もLPガスはその原因になる有害物質もほとんど発生させていません。環境や燃焼の話理科の授業で行う方法、人と火の出会いを想像する、50万年前の人間は言葉を身に付

け、火を手に入れ、狩りに使い、土器を焼き、料理をし、灯りにする。昭和4年に日本でLPガスが飛行船の燃料として使われた、火の歴史として、社会の授業、炊飯鍋を使い家庭科の授業で行う等進め方は限りなくある事を知りました。実際に「火起こし」で火をつける大変さと大切さを伝える、大人でも笑いのある体験、生徒がやるとなると楽しい。授業参観に参加された親に先進の給湯器・W発電を授業参観の券囲気で説明すると展示会とは違う価値があると感じました。家に帰り、食卓で今日覚えた火・LPガスについて、「こんな事知ってる？」と得意気に話をする子供の顔が想像出来ました、未来につなげる大切さを伝える為に必要な事を沢山教えて頂きました。

北海道エネルギー協会研修センター



**編集後記**

今年を振り返ると、異常気象が多い年であったと思います。夏は全国で猛暑となりました。8月上旬後半からの高温ピーク時には、東・西日本の太平洋側を中心に気温が著しく高くなりました。特に高知県四万十市江川崎では8月12日の最高気温が41.0℃となり、日本の最高気温の高い記録を更新しました。また、日最高気温の高い記録を更新した地点は143地点、日最低気温の高い記録を更新した地点は93地点に上った

そうです。9月には野田市他数箇所では竜巻が起こったり10月も途中までは真夏日が続いていたと思っただけで、台風が次々と来て甚大な被害をもたらしたり、10月1ヶ月分の雨量の雨が1日で降った豪雨など、枚挙にいとまがありません。やはりこれも地球温暖化が進行した事によるものなのでしょう。

現在、全国LPガス協会では25年度より新たな「需要開発推進運動」を始めています。LPガスの特性（分散型、災害に強い、環境に優しい、省エネ）を活かしたLPガス機器の拡販等を目指しており、その

中に「進化するLPガス」という項目があり、目的は高効率給湯器の普及推進によるLPガスの拡販です。特にエネファーム（エコウィル）を省エネ、CO2削減に加え分散型電源としての電力需給対策に有効なものとしての販売が掲げられています。自分達の商売のみならず、将来の為に販売していこうではありませんか。今年の冬は寒いとの気象庁の予報が出ております。まずはそれを望むばかりです。忙しい師走に入りました、体調を崩しませんようご自愛下さい。

秋元 利文 記